決して
忘れられない
日々がある

長崎
―閃光の影で―

菊池日菜子

小野花梨　川床明日香

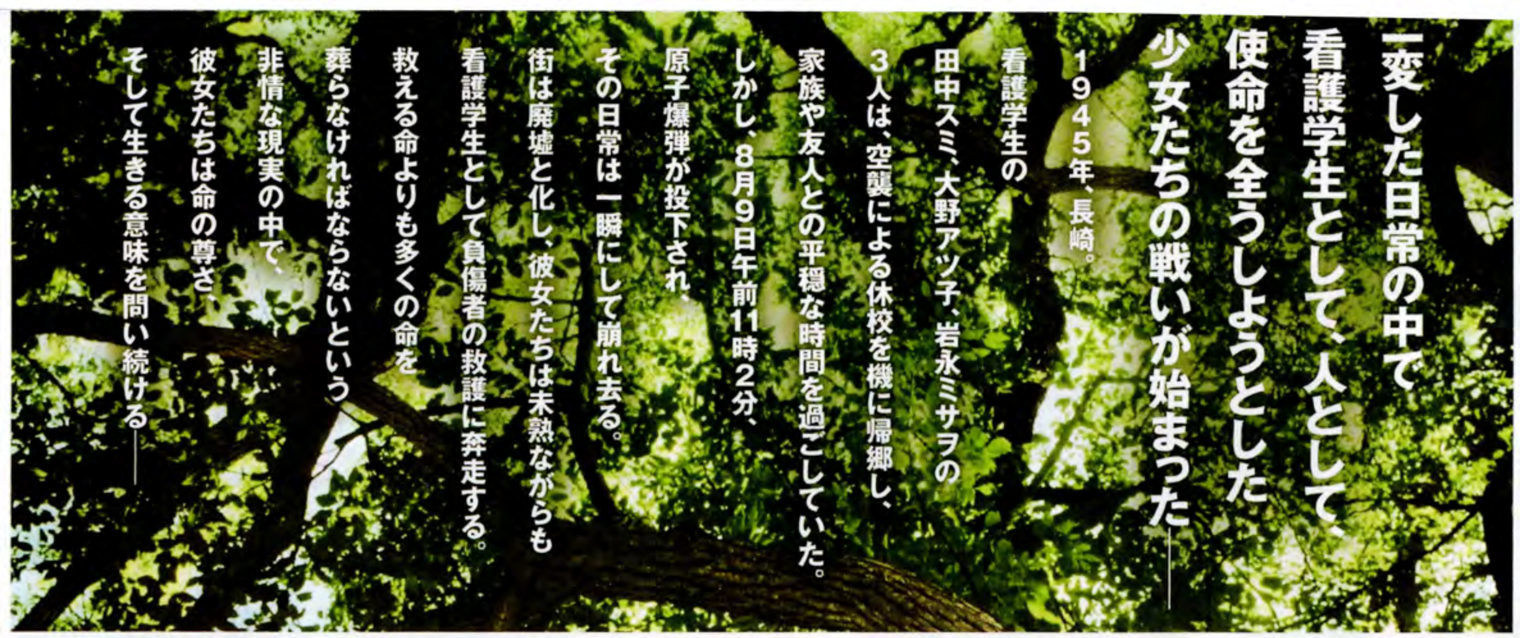
水崎綾女　渡辺大　田中偉登　呉城久美　坂ノ上茜　田畑志真　松尾百華　KAKAZU
加藤雅也　有森也実　萩原聖人　利重剛　／　池田秀一　山下フジヱ
南果歩　美輪明宏（語り）

原案：「閃光の影で―原爆被爆者救護　赤十字看護婦の手記―」（日本赤十字社長崎県支部）
監督：松本准平　脚本：松本准平　保木本佳子

主題歌：「クスノキ―閃光の影で―」（アミューズ／Polydor Records）
作詞・作曲：福山雅治　編曲：福山雅治 ／ 井上鑑　歌唱：スミ（菊池日菜子）／ アツ子（小野花梨）／ ミサヲ（川床明日香）
製作：岩本炯沢　荒木宏幸　吉田尚剛　高田旭人　関顕嗣　川村英己　川畑年弘　福山雅治
企画：中村佳代　エグゼクティブプロデューサー：岩本炯沢　吉田尚剛　プロデュース：鍋島壽夫　マーク服部　プロデューサー：関顕嗣　ラインプロデューサー：木村和弘
撮影：灰原隆裕　照明：川井稔　録音：紫藤佑弥　大竹修二　美術デザイン：丸尾知行　衣裳：森口誠治　ヘアメイク：清水美穂　特殊メイク・造形デザイン：百武朋
編集：藤田真一　特殊視覚効果：泉谷修　サウンドデザイン：紫藤佑弥　助監督：新谷和弥人　製作担当：小沼秀剛　キャスティング：岩瀬恵美子
音楽：小野川浩幸　制作プロダクション：SKY CASTLE FILM　ふればり　配給：アークエンタテインメント　
推薦：日本カトリック司教協議会　後援：長崎県　長崎市　公益財団法人 長崎平和推進協会

nagasaki-senkou-movie.jp　𝕏 @nagasaki_senkou

1945年、夏。「青春」と呼ぶには　あまりにも苛烈な、少女たちの物語。



一変した日常の中で
看護学生として、人として、
使命を全うしようとした
少女たちの戦いが始まった──

1945年、長崎。
看護学生の
田中スミ、大野アツ子、岩永ミサヲの
3人は、空襲による休校を機に帰郷し、
家族や友人との平穏な時間を過ごしていた。
しかし、8月9日午前11時2分、
原子爆弾が投下され、
その日常は一瞬にして崩れ去る。
街は廃墟と化し、彼女たちは未熟ながらも
看護学生として負傷者の救護に奔走する。
救える命よりも多くの命を
葬らなければならないという
非情な現実の中で、
彼女たちは命の尊さ、
そして生きる意味を問い続ける──

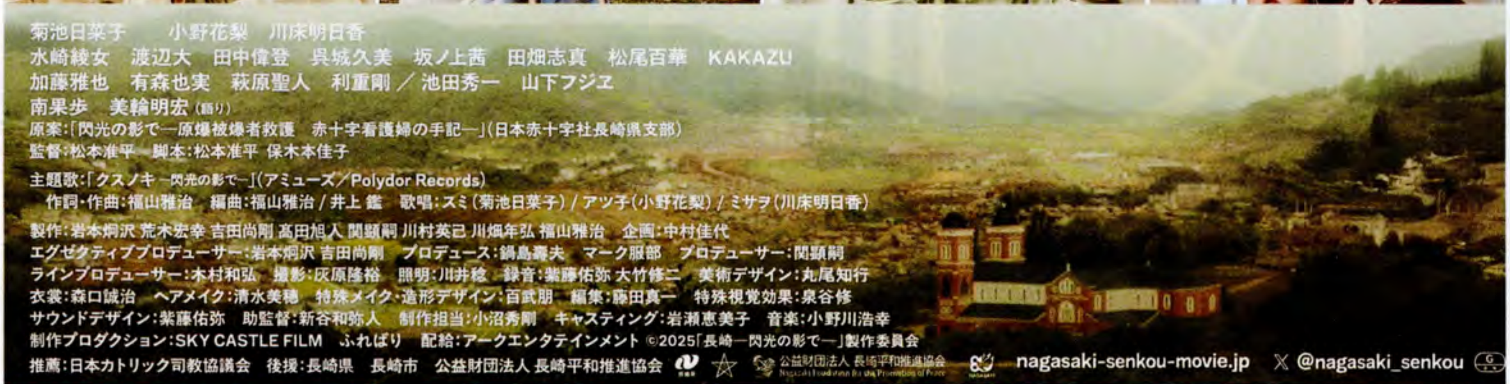
命を救おうと奔走し、多くの命を葬った少女たちの一カ月の物語

1945年、原爆投下直後の長崎で、若き看護学生たちが命を救おうと奔走していた──日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で―原爆被爆者救護 赤十字看護婦の手記―」を原案に、当時看護学生だった少女たちの視点から原爆投下という悲劇を描いた感動作が誕生した。

手記に記された体験をもとに脚色を加えながら生み出された3人の少女たちを演じるのは、菊池日菜子、小野花梨、川床明日香といったフレッシュな新鋭。医療態勢もままならない状況下で命と向き合い続けた一カ月に及ぶ救護活動の日々が、スクリーンに克明に刻まれる。また、長崎原爆投下の前日を描いた名作『TOMORROW 明日』の南果歩が、30年以上の時を経て再び長崎の物語に重要な役どころで出演。さらに、本作の原案にも体験を寄せた元看護学生のひとりである山下フジヱさんが特別出演し、その山下さんの思いを長崎出身の被爆者・美輪明宏が語りとして声で体現する。

主題歌は、長崎出身の福山雅治が被爆クスノキを題材にした「クスノキ ―閃光の影で―」のプロデュース・ディレクションを担当。

2025年を生きる私たちと同じように、彼女たちにも家族、友人、恋人、ささやかな喜び、そして夢があった。しかし、その"青春"は一瞬で奪われた──。それでも未来を諦めなかった少女たちの姿は、戦後の現代に生きる私たちに深い問いを投げかけるだろう。



菊池日菜子　小野花梨　川床明日香
水崎綾女　渡辺大　田中偉登　呉城久美　坂ノ上茜　田畑志真　松尾百華　KAKAZU
加藤雅也　有森也実　萩原聖人　利重剛 ／ 池田秀一　山下フジヱ
南果歩　美輪明宏（語り）

原案:「閃光の影で―原爆被爆者救護　赤十字看護婦の手記―」(日本赤十字社長崎県支部)
監督:松本准平　脚本:松本准平 保木本佳子
主題歌:「クスノキ ―閃光の影で―」(アミューズ／Polydor Records)
作詞・作曲:福山雅治　編曲:福山雅治 / 井上 鑑　歌唱:スミ(菊池日菜子) / アツ子(小野花梨) / ミサヲ(川床明日香)
製作:岩本炯沢 荒木宏幸 吉田尚剛 髙田旭人 関顯嗣 川村英己 川畑年弘 福山雅治　企画:中村佳代
エグゼクティブプロデューサー:岩本炯沢 吉田尚剛　プロデュース:鍋島壽夫　マーク服部　プロデューサー:関顯嗣
ラインプロデューサー:木村和弘　撮影:灰原隆裕　照明:川井稔　録音:紫藤佑弥 大竹修二　美術デザイン:丸尾知行
衣裳:森口誠治　ヘアメイク:清水美穂　特殊メイク・造形デザイン:百武朋　編集:藤田真一　特殊視覚効果:泉谷修
サウンドデザイン:紫藤佑弥　助監督:新谷和弥人　制作担当:小沼秀剛　キャスティング:岩瀬恵美子　音楽:小野川浩幸
制作プロダクション:SKY CASTLE FILM　ふればり　配給:アークエンタテインメント
推薦:日本カトリック司教協議会　後援:長崎県　長崎市　公益財団法人 長崎平和推進協会
公益財団法人 長崎平和推進協会
Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace
nagasaki-senkou-movie.jp　𝕏 @nagasaki_senkou

映画「長崎－閃光の影で－」上映会　＜日本語字幕付上映＞

2026年
2月24日｜火｜
①10:30-12:25
②14:00-15:55
③18:30-20:25

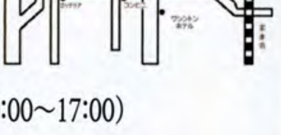
埼玉会館小ホール

●各回30分前開場　※先着入場（定員500席）全席自由

参加費　**電話割引・当日精算券持参 1,000円**
（当日）一般1,200円／ 学生・障がい者・シニア[60歳以上] 1,000円
小中高生800円

主催・配給／お問合せ・電話割引受付 ▶ 埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263（電話受付:平日10:00～17:00）

浦和駅西口　県庁方面へ徒歩6分



PALME D'OR
FESTIVAL DE CANNES

第69回 カンヌ国際映画祭
パルムドール（最高賞）

人生は変えられる。隣の誰かを助けるだけで。

わたしは、
ダニエル・ブレイク

DIRECTED BY
KEN LOACH
SCREENPLAY BY
PAUL LAVERTY

DAVE JOHNS HAYLEY SQUIRES

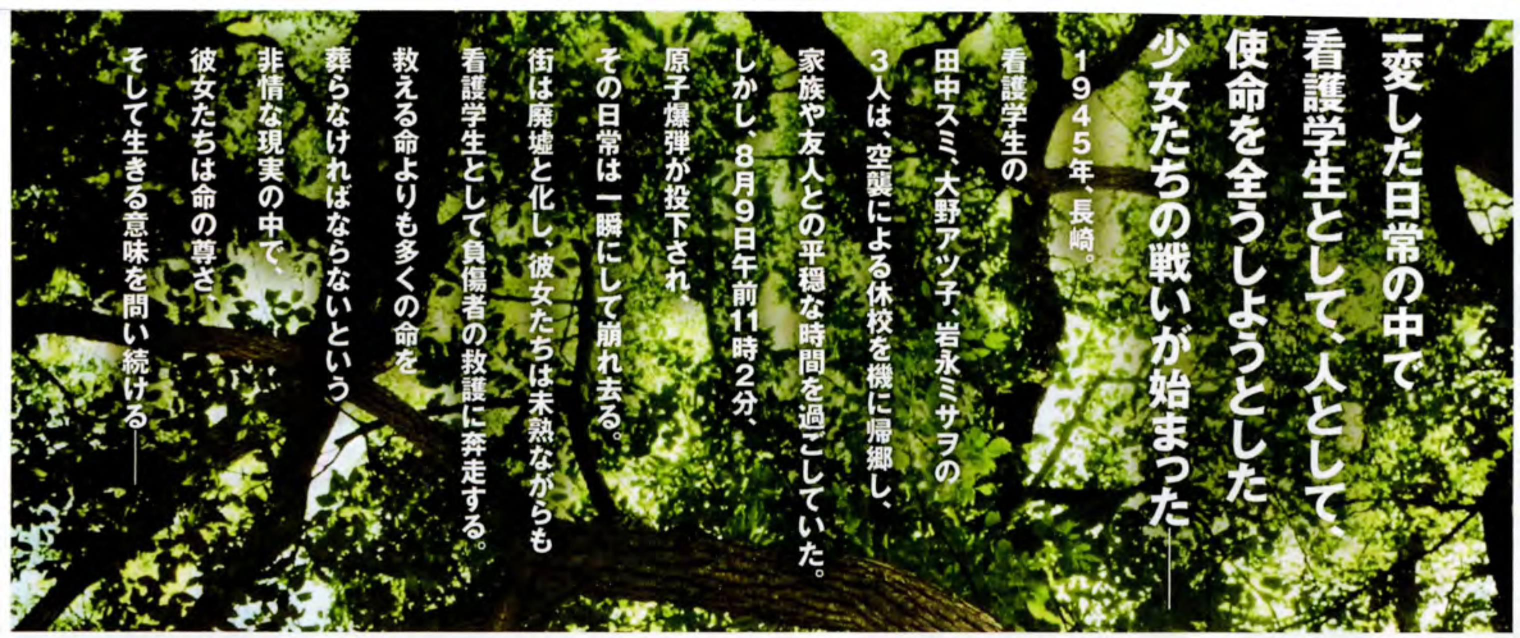
SIXTEEN FILMS WHY NOT PRODUCTIONS WILD BUNCH BFI BBC FILMS LES FILMS DU FLEUVE FRANCE 2 CINÉMA CANAL + FRANCE TÉLÉVISIONS LE PACTE CINÉART CINÉ + VOO AND BE TV
PRODUCTION DESIGNERS FERGUS CLEGG LINDA WILSON PHOTOGRAPHY ROBBIE RYAN RECORDIST RAY BECKETT SOUND EDITOR KEVIN BRAZIER CASTING KAHLEEN CRAWFORD COSTUME DESIGNER JOANNE SLATER ASSISTANT DIRECTOR DAVID GILCHRIST
LINE PRODUCER EIMHEAR MCMAHON EDITOR JONATHAN MORRIS MUSIC GEORGE FENTON EXECUTIVE PRODUCERS PASCAL CAUCHETEUX GRÉGOIRE SORLAT VINCENT MARAVAL SCREENPLAY PAUL LAVERTY PRODUCER REBECCA O'BRIEN DIRECTOR KEN LOACH

監督：ケン・ローチ　脚本：ポール・ラヴァティ　出演：デイヴ・ジョーンズ、ヘイリー・スクワイアーズ
2016年／イギリス、フランス、ベルギー／英語／100分／アメリカンビスタ／カラー／5.1ch／原題：I, DANIEL BLAKE／日本語字幕：石田泰子　提供：バップ、ロングライド　配給：ロングライド

© Sixteen Tyne Limited, Why Not Productions, Wild Bunch, Les Films du Fleuve,British Broadcasting Corporation, France 2 Cinéma and The British Film Institute 2016

名匠ケン・ローチが〈今、だからこそ〉全世界に伝えたいメッセージ。
涙と感動の最高傑作。

danielblake.jp



一変した日常の中で
看護学生として、人として、
使命を全うしようとした
少女たちの戦いが始まった――

１９４５年、長崎。
看護学生の
田中スミ、大野アツ子、岩永ミサヲの
3人は、空襲による休校を機に帰郷し、
家族や友人との平穏な時間を過ごしていた。
しかし、8月9日午前11時2分、
原子爆弾が投下され、
その日常は一瞬にして崩れ去る。
街は廃墟と化し、彼女たちは未熟ながらも
看護学生として負傷者の救護に奔走する。
救える命よりも多くの命を
葬らなければならないという
非情な現実の中で、
彼女たちは命の尊さ、
そして生きる意味を問い続ける――

命を救おうと奔走し、多くの命を葬った少女たちの一カ月の物語

1945年、原爆投下直後の長崎で、若き看護学生たちが命を救おうと奔走していた――日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で―原爆被爆者救護 赤十字看護婦の手記―」を原案に、当時看護学生だった少女たちの視点から原爆投下という悲劇を描いた感動作が誕生した。

手記に記された体験をもとに脚色を加えながら生み出された3人の少女たちを演じるのは、菊池日菜子、小野花梨、川床明日香といったフレッシュな新鋭。医療態勢もままならない状況下で命と向き合い続けた一カ月に及ぶ救護活動の日々が、スクリーンに克明に刻まれる。また、長崎原爆投下の前日を描いた名作『TOMORROW 明日』の南果歩が、30年以上の時を経て再び長崎の物語に重要な役どころで出演。さらに、本作の原案にも体験を寄せた元看護学生のひとりである山下フジヱさんが特別出演し、その山下さんの思いを長崎出身の被爆者・美輪明宏が語りとして声で体現する。

主題歌は、長崎出身の福山雅治が被爆クスノキを題材にした「クスノキ ―閃光の影で―」のプロデュース・ディレクションを担当。

2025年を生きる私たちと同じように、彼女たちにも家族、友人、恋人、ささやかな喜び、そして夢があった。しかし、その“青春”は一瞬で奪われた――。それでも未来を諦めなかった少女たちの姿は、戦後の現代に生きる私たちに深い問いを投げかけるだろう。

菊池日菜子　小野花梨　川床明日香
水崎綾女　渡辺大　田中偉登　呉城久美　坂ノ上茜　田畑志真　松尾百華　KAKAZU
加藤雅也　有森也実　萩原聖人　利重剛 ／ 池田秀一　山下フジヱ
南果歩　美輪明宏（語り）
原案:「閃光の影で―原爆被爆者救護　赤十字看護婦の手記―」（日本赤十字社長崎県支部）
監督:松本准平　脚本:松本准平 保木本佳子

主題歌:「クスノキ ―閃光の影で―」（アミューズ／Polydor Records）
作詞・作曲:福山雅治　編曲:福山雅治 / 井上 鑑　歌唱:スミ（菊池日菜子）/ アツ子（小野花梨）/ ミサヲ（川床明日香）

製作:岩本炯沢 荒木宏幸 吉田尚剛 髙田旭人 関顕嗣 川村英己 川畑年弘 福山雅治　企画:中村佳代
エグゼクティブプロデューサー:岩本炯沢 吉田尚剛　プロデュース:鍋島壽夫　マーク服部　プロデューサー:関顕嗣
ラインプロデューサー:木村和弘　撮影:灰原隆裕　照明:川井稔　録音:紫藤佑弥 大竹修二　美術デザイン:丸尾知行
衣裳:森口誠治　ヘアメイク:清水美穂　特殊メイク・造形デザイン:百武朋　編集:藤田真一　特殊視覚効果:泉谷修
サウンドデザイン:紫藤佑弥　助監督:新谷和弥人　制作担当:小沼秀剛　キャスティング:岩瀬恵美子　音楽:小野川浩幸
制作プロダクション:SKY CASTLE FILM　ふればり　配給:アークエンタテインメント
推薦:日本カトリック司教協議会　後援:長崎県　長崎市　公益財団法人 長崎平和推進協会

nagasaki-senkou-movie.jp　X @nagasaki_senkou

映画「長崎－閃光の影で－」上映会　＜日本語字幕付上映＞

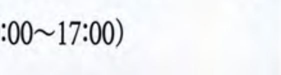
2026年
2月24日｜火｜
①10:30-12:25
②14:00-15:55
③18:30-20:25

埼玉会館小ホール

●各回30分前開場　※先着入場（定員500席）全席自由

参加費　**電話割引・当日精算券持参 1,000円**
（当日）一般1,200円／ 学生・障がい者・シニア[60歳以上] 1,000円
小中高生800円

浦和駅西口 県庁方面へ徒歩6分



主催・配給／お問合せ・電話割引受付 ▶ 埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263（電話受付:平日10:00～17:00）